

## 5月会長定例記者会見

Q. 「平成から令和へ」に関する放送について

A. (上田会長) NHKは、平成から令和へかわる時代の節目にあたって、特別編成を行いました。

退位・即位の儀式については、4月30日と5月1日に、国事行為として皇居・宮殿「松の間」で行われた、退位礼正殿の儀、剣璽等承継の儀、即位後朝見の儀などの生中継を中心に特設ニュースをお伝えしました。皇居での一連の行事や、皇居とお住まいとを行き来される皇族のご様子、儀式に関する閣議決定など、それぞれの意味合いを記者が解説しました。また、長年仕えた宮内庁の元幹部やご友人、専門家などをゲストにお招きし、天皇皇后両陛下や上皇ご夫妻の素顔に触れるとともに、退位・即位と憲法との関係や、受け継がれる象徴天皇像などについて掘り下げ、多角的にお伝えしたと考えています。

一連の儀式のうち、退位礼正殿の儀、剣璽等承継の儀、即位後朝見の儀は、BS8Kでも生中継でお伝えしました。また、インターネットのNHKニュースウェブやNHKニュース防災アプリを通じて、同時提供も行いました。

4月30日のNHKスペシャル「日本人と天皇」では、日本人にとっての天皇について、長期的な視点を持って伝えました。

同じく30日の「ゆく時代くる時代」では、爆笑問題のお二人が平成30年間の様々なトピックスを紹介し、楽しく時代を振り返りました。

1日の「新天皇・新皇后“歩まれる道”」では、新たに即位された天皇陛下のイギリス留学時代の友人の証言などをもとに独自の取材で、幼い頃からの天皇になられることへの思いを伝えました。また、新たに皇后となられた雅子さまが、東日本大震災で被災者の元に駆け付けられたお気持ちなど、お二人のお人柄にも触れる内容となっていたと思います。

さらにラジオ第1では、4月27日から30日まで4夜連続で「ラジオ深夜便」の特集番組を放送し、歴代アンカーと共に、平成の30年間に伝えた文化や芸能、スポーツ、音楽などをご紹介しました。

国際放送「NHKワールド JAPAN」では、テレビ国際放送で4月30日と5月1日に合わせて3時間40分にわたり、特設ニュースで退位・即位について世界へ発信し、中国語ネットチャンネルでも、同時通訳を交えて儀式を中継したほか、ラジオ国際放送でも17言語のニュースで取り上げました。

一連の退位・即位関連のニュース・番組は、多くの視聴者にご覧いただき、視聴者・国民のニーズにしっかりお応えできたと考えています。

Q. BS1・パラスポーツ選手の転機を描く特集番組について

A. (会長) 東京オリンピック・パラリンピックを来年に控え、NHKは、これまで以上に多角的な情報を発信してまいります。

来月は、日本そして世界のパラスポーツ選手たちが、どのようにして様々なハードルを乗り越えアスリートとなっていくのかを描く特集番組「リセット」を放送します。パラスポーツとの出会いを通じて、新たな人生を切り拓いたアスリートたちの物語に迫ります。登場するのは、日本の車いすマラソンの喜納翼選手や、アメリカのパラ・アーチェリーのマット・スタッツマン選手といった一流選手4人です。女優の満島ひかりさんが世界各地に選手たちを訪ねます。

番組は、選手たちそれぞれの軌跡を描くドラマパートと、満島さんが選手たちを密着取材し素顔に迫るドキュメンタリーパートの2つの柱でお送りします。

(詳細は報道資料参照)

Q. 6月のBS8K番組について

A. (会長) 6月のBS8Kは、文化・芸術に関する番組を集中的に編成します。6月9日から4週連続で放送する「ルーブル美術館 美の殿堂の500年」では、収蔵品の数々を美術館の成り立ちとともに紹介します。第1集は、レオナルド・ダ・ヴィンチからフランス王が譲りうけた「モナ・リザ」のエピソードなどとともに名作の数々をご覧ください。第2集は、17世紀から18世紀、絶対王政の時代に花開いた華麗なフランス美術を、第3集は、フランス革命とナポレオンの時代、ナポレオンの遠征をきっかけに収蔵された古代エジプト美術の傑作を紹介します。そして第4集には、19世紀から20世紀にかけて、ドラクロワの「民衆を導く自由の女神」など激動の時代を映す作品が登場します。

(詳細は報道資料参照)

(以上)